

## 一 オオウラの変遷

今月のチャレンジ企業は、白山市(旧美川町)で畳製造・販売を営む、有限会社オオウラ。

同社は、昭和四十三年九月に当地で創業し、来年九月には四十周年を迎える。

創業時の昭和四十年代は、建築ブームにより畳業界も活況に沸き、当社でもピーク時には年間二万二千枚を作り上げるまでに成長する。

しかし、昭和五十年代に入ると、オイルショックによって業況も一転、その後生活様

## 探訪 チャレンジ企業 54

畳を愛する思いが新製品を生む！  
—和室床暖房システム「陽あたり」—  
有限会社オオウラ：白山市(美川)



畳を製造する工場の様子

式の欧米化など、徐々に畳の需要が落ち込んでいった。当社もご多分にもれず厳しい経営環境を余儀なくされ、未だ回復までには至っていない。

## 二 畳業界を元気にしたい

こうした環境下、大浦社長「もう一度畳業界を元気にしたい」との強い思いが、和室床暖房システム「陽あたり」を開発させた。

和室床暖房の良さは、畳に座ると何か落ち着くといった日本人なら誰しもが癒される質感に、床暖房独特の柔らかい暖かさが加わることで、「ずっと居たくなる快適空間」を生むことにある。

これまでの床暖房専用畳は熱伝導性を重視するあまり、とても畳とは言えない見た目の置き畳や、アルミ等の金属が入ったもの等、ミリ単位の切断を必要とする和室に適さ

ない施工性の悪いものであった。

当社開発の畳は施工性に優れた素材を組み合わせながらも、本来の風合いや反発性を実現している。また、約三十ミリという薄さを追求し、熱源システムとあわせた厚みは一般畳と同じ五五ミリである。リフォーム工事は床工事を不要とし畳の張替え感覚の手軽なものとなる。工期は一日。この大規模工事を要しない短工期が当商品の低価格を実現しているのだ。



一般畳と同じ55ミリの厚さを実現

ちなみに熱源は英国フレクセル・インターナショナル社製「フレクセル」。安全性に定評の高い床暖房用フィルムヒーターである。

大浦社長は、今回開発した床暖房専用畳の製造技術と同業者にも惜しげもなく開放している。それは、地元で信頼の厚い畳屋さんが施工およびメンテナンスをすることで、



左から社長の大浦宏一さんと営業担当で息子の正春さん

昨年来、美川商工会からの勧めもあり、中小企業新事業活動促進法に基づく、経営革新計画に挑戦し、今年三月、石川県知事の承認を得た。

その甲斐もあって、今年五月には、石川県による「平成十九年度石川ブランド優秀新製品」として認定され、翌六月には、白山市からも表彰状が贈られるなど、名実ともに石川を代表する製品として認められたことは、今後の展開に大きな励みになったと同時に、その重みをひしひしと感じている。

## 三 経営革新からの贈り物

お客様も安心して使って頂けるし、ひいては畳の良さを訴求につながるの思いによる。町の畳屋さんならではの発想だ。

「私のところは、フィルムヒーターの引き合いがあればそれでいいんですよ」と笑う。

## 四 自社ショールーム開設

大浦社長は、「百聞は一見にしかず。やっぱり実際に体感してもらい、この製品の良さを知ってもらおうのが一番」と、自社工場内に和室床暖房体感ルームを開設した。



体感ルームで和む子供たち

※現在、高齢者などを対象とした無料送迎サービスもいたしております。  
お気軽にご連絡ください。

(お問い合わせ)

有限会社 オオウラ

事務所：〒929-0102 白山市  
石川県白山市

長屋町イ九八番地三  
TEL 〇七六—二七八—三五三  
<http://www.e-oura.com/>

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。